

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業（主催・共催型プロジェクト）（一次提案受付）採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択額 (千円)
1	アース・セレブレーション実行委員会	日本博を契機とした佐渡の文化資源コンテンツ創成事業（仮称）	新潟県	令和元年8月15日～18日	佐渡市指定文化財を会場に、佐渡を拠点に世界で活躍する太鼓芸能集団 鼓童によるコンサート開催や、佐渡の能舞台を活用した鼓童と伝統芸能のコラボレーション実施、さらに、佐渡の芸能、自然、歴史等の地域資源を活用したフィールドワーク「佐渡体験プログラム」を実施し、佐渡の郷土料理と民俗芸能の旅などの食と生活・文化体験を実施します。	36,082
2	十日町市	越後妻有 雪花火2019/Gift for Frozen Villege2019（仮称）	新潟県	令和2年2月～3月	本プロジェクトでは、山河によって育まれた日本の原風景とも言うべき豊かな里山を舞台に、広大な雪原を「光の種」が彩る、幻想的な光の花畑や、地元の食材で作られた、あたたかな屋台の食事、そして、音楽と花火が共演する、ミュージックスターメインなど、越後妻有から自然の美を世界に向けて発信していきます。	20,090
3	株式会社ライゾマティクス	MANSAI 解体新書その参拾特別版「5W1H」	東京都	令和元年7月9日～14日	野村萬斎と真鍋大度・石橋素が世界にむけて「日本人の身体」をテーマにするメディアテクノロジーパフォーマンス。人間の行動様式を「5W1H」と記号化し、そこから見えてくる人間の根源的な身体性をデジタル解析し、テクノロジー表現することで、生きている人間を実感して、さらには、日本人の特徴とその様式美をアピールします。	17,648
4	公益財団法人墨田区文化振興財団 すみだ北斎美術館	「綴プロジェクト」ー高精細複製画で綴るー スミソニアン協会フリーア美術館の北斎展	東京都	令和元年6月25日～8月25日	日本美術の宝庫として知られるフリーア美術館はその所蔵品に門外不出の方針を貫いています。「綴プロジェクト」※によって、同館が誇る葛飾北斎の肉筆画コレクションの中から日本の自然を描いた「波濤図」等13点の高精細複製画を製作、これを「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」等のすみだ北斎美術館所蔵約130点の関連作品と共に展示します。多言語の解説、フリーア美術館の学芸員による講演会や、屏風等の江戸生活文化に関わる畳敷きの部屋での体験型ワークショップを開催し、訪日外国人を含めた多くの方々に日本文化を伝え、楽しんでいただきます。※京都文化協会とキャンオンが推進	8,740
5	東京アート&ライブシティ構想実行委員会	日本の伝統芸能、メディア芸術、美術ミックスでインバウンド促進 ～能楽・歌舞伎・時代劇～	東京都	令和元年10月5日～25日	日比谷、銀座、築地地区は、日本を代表する能楽、歌舞伎、宝塚、ミュージカル、映画、美術ギャラリーなど世界に稀に見る固有で多様な芸術集積地です。その力を生かし、これまで外国人観光客がほとんど鑑賞する機会がなかった、「能」「歌舞伎」などの伝統芸能、日本映画を新たな技術を生かした携帯端末や字幕、映画衣裳のギャラリー展示等を多言語上映、解説により行います。日本の自然、日本人の心と美意識の結晶である芸術への理解を深めてもらう「東京アート&ライブシティ」を東京、日本の顔としての「国家ブランド」に磨き上げることを狙った事業です。	6,819
6	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館	「錦木清方 幻の《築地明石町》特別公開」 44年ぶりの再発見作品の特別公開	東京都	令和元年11月～12月	長年行方不明となったまま「幻の名画」として多くの美術ファンより公開が熱望されていた近代日本画家・錦木清方の名作《築地明石町》を特別公開し、関連作品もあわせて展示します。日本の季節の移ろいを楽しむ明治の人々の美意識をさまざまに描いた当該作品は、1927（昭和2）年の帝国美術院賞を受賞した、近代日本画を代表する名作です。展示は多言語（日英中韓）で行い、訪日外国人を対象にしたイベントを行います。	16,867
7	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	日本文化体験「日本のよろい！」	東京都	令和元年7月17日～9月23日	平安時代より受け継がれてきた日本の甲冑の魅力を、鑑賞と体験を通じて直感的に伝える展示です。甲冑は、四季折々の自然の影響を受け育まれた美意識のもと、皮革、漆、金属、染織等さまざまな自然素材と技術を組み合わせて作られました。甲冑に使われた多彩な技術が分かる製作見本の展示、中近世に用いられた甲冑の展示、忠実な甲冑のレプリカに触るハンズオン展示、そして甲冑の着用体験を行います。サポートスタッフを配置し、パネルは多言語（日英中韓）表記とした、幅広い世代や訪日観光客の方にも楽しんでいただける企画です。	21,803

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択額 (千円)
8	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場	DiscoverKABUKI—外国人のための歌舞伎鑑賞教室— 『解説 歌舞伎のみかた』『神霊矢口渡』	東京都	令和元年6月17日、18日	日本の伝統芸能「歌舞伎」の魅力の世界に発信するため、自然の風景の中で描かれる歌舞伎の名作『神霊矢口渡』を解説付きで上演する外国人向けの入門公演「Discover KABUKI—外国人のための歌舞伎鑑賞教室—」を2日3回公演で実施します。日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・フランス語の6言語対応による音声ガイドとプログラムの提供、初めての方にも分かりやすい日本語と英語を交えた事前解説、英語の字幕表示に加え、初の試みとして外国人向けの体験型ワークショップを実施します。	4,665
9	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場	邦楽公演 「日本音楽の流れ—三味線—」 「親子で楽しむ舞踊・邦楽」 「浮世絵の音—北斎・広重—（仮）」 「邦楽鑑賞会 長唄の会・三曲の会—四季を巡って—（仮）」	東京都	令和元年6月8日、7月6日、 9月15日、10月5日、 令和2年1月18日～19日	日本の伝統音楽である邦楽には、四季折々の風物や物語が巧みに歌われており、我が国特有の音楽性が豊かに表現されています。外国人や子供、若者など初めて邦楽に触れる方々も対象に、箏・琵琶・三味線・笛・尺八・小鼓・太鼓等の公演を、英語解説文を配布するなど訪日外国人等にも親しみやすい演出や、日本の音楽の流れが分かりやすく鑑賞できる工夫を施し行います。6月公演では、三味線の多様性を歴史の変遷とともに紹介、7月公演は、体験コーナーや実演解説を交えた子供向けの入門公演、10月公演では、浮世絵にちなんだ邦楽の演奏を広重の「東海道五拾三次」とともに紹介、1月公演では、季節や風物にちなんだ長唄や三曲の名作を上演します。	8,968
10	豊島区	日本博を契機とした野外公演事業（仮称）	東京都	令和元年9月21日～11月10日	中世の庶民に親しまれた踊りをルーツとするパフォーマンスや、現代に伝わる民俗舞踊によるフェスティバル、明治時代の文豪の代表作に着想を得た演劇、現代人のコミュニティのあり方を問い直すパフォーマンスなど、様々なジャンルの野外公演を東京・池袋エリアに集結させます。同時期に開催される東京芸術祭とあわせ、国内外のあらゆる方を対象に、日本でしか見ることができないプログラムを展開します。	59,230
11	文化庁／国立近現代建築資料館	安藤忠雄初期建築原図展に伴う教育普及講座及び関連展示	東京都	令和元年6月8日～9月23日	我が国の近現代建築における自然や多文化との共生について理解することを目的として、企画展「安藤忠雄初期建築原図展— 一個の自立と対話」に関連したプログラムを開催します。代表作である「住吉の長屋」「光の教会」の建築設計図や模型などの展示とともに、安藤氏自身による講演（逐次英語通訳）と多言語のパネル展示によって、その思想と理念を国内外に広く発信します。	2,013
12	横浜市	日本博を契機とした横浜版文化資源コンテンツ創成事業	神奈川県	令和元年9月15日～11月15日	関東地方現存最古の能舞台である横浜能楽堂での日本伝統音楽の公演や、世界で活躍する和太鼓の第一人者によるホール公演など、横浜の文化芸術資源を活かしたプログラムを実施し、日本の文化を国内外に発信します。また、市内の商業施設や自然豊かな里山ガーデン等のオープンスペースに音楽ステージを設け、誰もが気軽に音楽を楽しめる取組のほか、分身ロボットを活用して外出困難な方に臨場感あふれるコンサートホール体験を提供するなど新しい取組にも挑戦します。	73,317
13	京都府	日本博を契機とした「ARTISTS' FAIR KYOTO 2020」	京都府	令和2年2月29日、3月1日	毎年多くの芸術家の卵を輩出している京都において、作家活動と地域産業等との新たなネットワーク形成を目指し、既存のアートフェアの枠組みを超えた新しいアートフェアを開催します。開催にあたっては、京都のまちを相互交流の場とするとともに、日本の美意識が現在も息づく京都の町家や文化財等の魅力ある文化資源を活用し、市場開拓や世界市場に向けた新たな創造交流を推進することで、京都の「文化力」による地方創生に取り組む。	16,000
14	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立文楽劇場	Discover BUNRAKU —BUNRAKU for Beginners— 『The ABC of BUNRAKU』『菅原伝授手習鑑』	大阪府	令和元年6月15日	人形浄瑠璃文楽三大名作のひとつであり海外でも人気の高い『菅原伝授手習鑑』を外国人を対象に、英語の進行を交えた鑑賞の手引き「The ABC of BUNRAKU」の実施、日本語・英語のイヤホンガイド、英語字幕を導入する形でご覧いただけます。梅王丸、松王丸、桜丸というそれぞれ「梅・松・桜」を名に冠した三つ子の兄弟をめぐる物語は、日本の自然を背景にした心性を味わうことができる、日本人の自然に対するイメージが随所に投影された名作です。	2,586
15	独立行政法人国立文化財機構 奈良国立博物館	わくわくびじゅつギャラリー「いのりの世界のどうぶつえん」	奈良県	令和元年7月13日～9月8日	本展は数々の仏教美術の中から「どうぶつ」を表し描いた作品を、重要文化財「春日鹿曼荼羅」や「十二神将立像」等動物が表されている作品を選びすぐって、わかりやすく多言語(日英中韓)で紹介します。龍、獅子、象、鳳凰、十二支などの動物造形を通じて、日本人の豊かな発想、造形力を見ることが出来ます。また、奈良文化財研究所と連携し、奈良滞在時間増などのインバウンド促進に資するため、試行的に平城宮跡と奈良公園間にシャトルバスを運行します。	8,938

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択額 (千円)
16	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	春期特別展「骨ものがたり 環境考古学研究室のお仕事」	奈良県	令和元年4月23日～6月30日	日本人は古来、自然と向き合い、さまざまな動物や魚などの生き物をどのように利用し向き合ってきたのか発掘された縄文時代以降の骨や文化財を通して迫る展示を行います。また、東日本大震災被災地復興に関わる高台造成調査の際に新たに発見された「縄文時代の巨大マグロ骨」新発見を踏まえ、本物と生体復元模型を製作・多言語（日英中韓）で紹介、あわせて「体験！研究員のお仕事」（外国人は英語で解説）等を行います。製作した資料は今後、被災地での展示や貸し出しへの対応も予定しています。	2,834
17	香川県	瀬戸内の島々を舞台としたパフォーマンス実施事業	香川県	令和元年7月19日～8月25日、 9月28日～11月4日	日本博開催を契機とし、瀬戸内海の島々を舞台としたパフォーマンスを行うことにより、瀬戸内の持つ魅力を国内外に向けて発信します。瀬戸内国際芸術祭と同時期に実施されるパフォーマンスは、現代アートを切り口に瀬戸内の島々で受け継がれてきた伝統文化や歴史、民俗に焦点を当てたものとし、地域の住民の参加や協力を得て、より地域に多角的に関わりながら展開していきます。	23,058
18	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	特別展「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」	福岡県	令和元年4月23日～6月16日	千本釈迦堂の名で親しまれる京都の大報恩寺は真言宗智山派の寺院で、鎌倉時代の1220年に義空上人が開創し、2020年に開創800年を迎えます。本堂は応仁の乱をはじめとする幾多の戦火を免れ、洛中最古の木造建造物として国宝に指定されています。本展は大報恩寺に伝わる「慶派」の名品の数々を多言語（日英中韓）で紹介するとともに、仏像の玉眼や截金等の制作技法について、精巧な模型を用いて説明する体験型プログラム「ザ・慶派の手仕事」も実施します。	7,932
19	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	特別展「室町将軍—戦乱と美の足利十五代」	福岡県	令和元年7月13日～9月1日	歴代将軍の肖像やゆかりの文化財から、室町将軍十五代の栄枯盛衰と個性あふれる将軍たちの魅力に迫るとともに、歴代将軍が愛し、価値付けた名品を通して、南北朝時代から室町時代にかけての多彩な芸術文化を多言語（日英中韓）で紹介します。京都・等持院に伝わる歴代足利将軍の彫像13躯が初めて寺外で公開されます。また最新の研究成果に基づいて日明貿易「勘合」を復元し訪日外国人も含めた体験型のプログラムを創成します。室町時代に生まれた床の間の原型である座敷飾り（花瓶・香炉・燭台）を再現するなど、日本の伝統文化の由来となった室町時代を体感する新たな演出を行います。	8,042

1. 採択合計額

345,632千円

2. 採択結果

提案件数 23件

採択件数 19件